

愛称：円のソムリエ

# アムンディ・ジャパン・プラス債券ファンド

追加型投信／内外／債券

## 第29作成期

第169期（決算日 2025年2月18日）  
第170期（決算日 2025年3月18日）  
第171期（決算日 2025年4月18日）  
第172期（決算日 2025年5月19日）  
第173期（決算日 2025年6月18日）  
第174期（決算日 2025年7月18日）  
作成対象期間（2025年1月21日～2025年7月18日）

第174期末（2025年7月18日）	
基準価額	7,261円
純資産総額	1,027百万円
第169期～第174期	
騰落率	△1.9%
分配金（税込み）合計	6円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

### ●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。

当ファンドは、アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の国債等に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目標として運用を行います。主として、世界各国のうち信用力の高い国の国債等に実質的に投資を行い、トップダウンによる地域・国配分およびボトムアップによる銘柄選択によりポートフォリオを構築します。実質組入外貨建資産については、原則としてマザーファンドにおいて為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ることをめざします。

当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

#### 【閲覧方法】

- 右記<お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「ファンド・基準価額一覧」をクリック⇒当該一覧から当ファンドのファンド名称をクリック⇒運用報告書（全体版）をクリック（当ファンドが償還した場合は「ファンド情報」メニューの「償還ファンド一覧」からご覧ください）
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## アムンディ・ジャパン株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号

### <お問い合わせ先>

お客様サポートライン：050-4561-2500

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

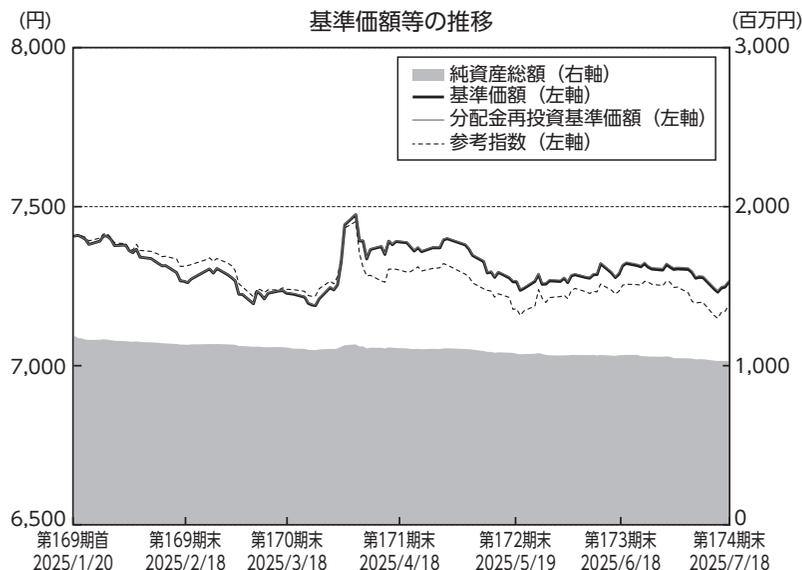
ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

<4725980・4734226>

# 運用経過

## 基準価額等の推移

第169期首	7,407円
第174期末	7,261円
既払分配金 (税込み)	6円
騰落率	△1.9% (分配金再投資ベース)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 参考指数はNOMURA-BPI総合です。
- (注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2025年1月20日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、前作成期末比で下落しました。

### 上昇要因

米相互関税による景気減速懸念の高まりから利上げ期待が一部剥落したことなどにより日本の長期金利が低下（債券価格は上昇）したこと。

### 下落要因

日銀の追加利上げに対する懸念を市場が織り込んだことなどから長期金利が上昇（債券価格は下落）したこと。

## 1万口当たりの費用明細

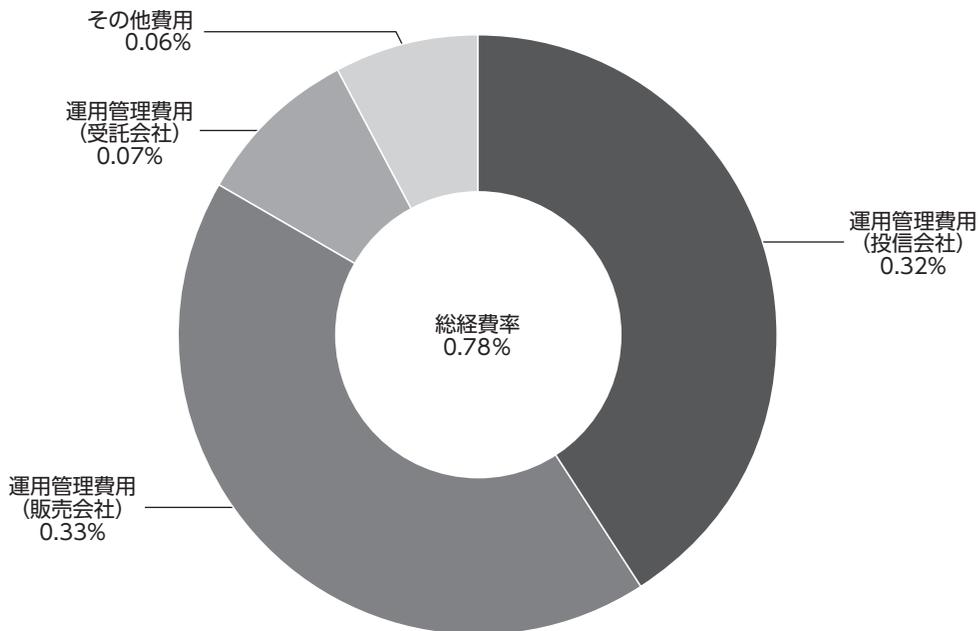
項 目	第169期～第174期 (2025年1月21日 ～2025年7月18日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a)信託報酬 (投信会社) (販売会社)  (受託会社)	26円 (11) (12)  ( 2)	0.351% (0.156) (0.162)  (0.032)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)その他費用 (保管費用)  (監査費用) (印刷費用)	2 ( 0)  ( 0) ( 2)	0.031 (0.000)  (0.005) (0.026)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の 移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	28	0.382	
期中の平均基準価額は7,310円です。			

- (注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。  
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
(注4) その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ●総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.78%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

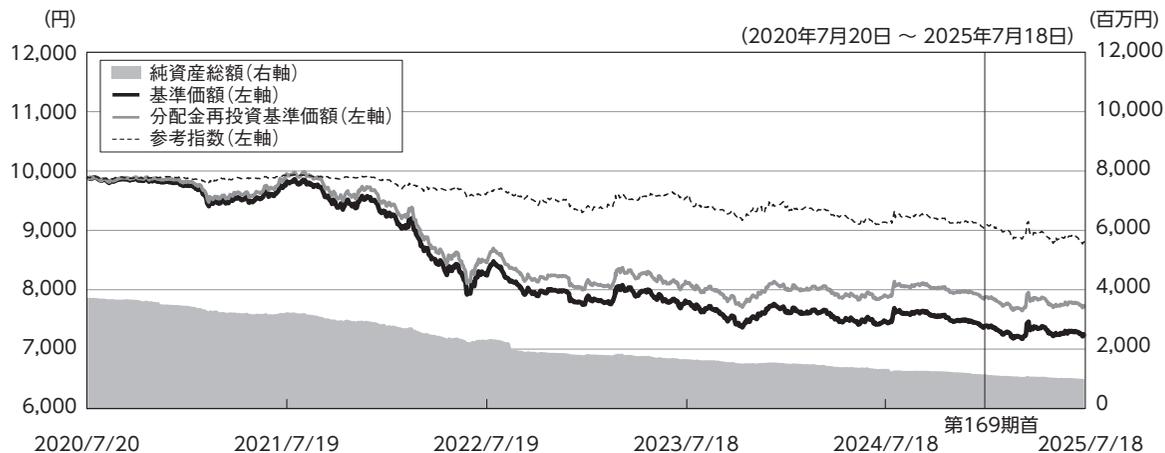
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応する費用を含みます。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 参考指数はNOMURA-BPI総合です。

(注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年7月20日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2020/7/20 期首	2021/7/19 決算日	2022/7/19 決算日	2023/7/18 決算日	2024/7/18 決算日	2025/7/18 決算日
基準価額(円)	9,882	9,759	8,280	7,776	7,479	7,261
期間分配金合計(税込み)(円)	—	120	120	120	120	57
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	0.0	-14.0	-4.7	-2.3	-2.2
参考指数騰落率(%)	—	0.5	-3.2	-1.0	-4.0	-3.5
純資産総額(百万円)	3,749	3,245	2,342	1,693	1,368	1,027

(注) 参考指数はNOMURA-BPI総合です。

NOMURA-BPI総合とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(以下「NFRC」という。)が公表する、国内で発行された公募利付債券の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利はNFRCに帰属します。以下同じ。

## 投資環境

### <世界の国債市場>

当作成期初、米国では、軟調な結果となった経済指標の発表やトランプ新政権の政策に対する不透明感などから長期金利は低下（債券価格は上昇）基調でした。欧州では、ドイツの軍事費増加による財政赤字拡大懸念を一部市場が織り込んだことなどを受け、長期金利は大幅に上昇（債券価格は下落）しました。日本では、日銀の追加利上げに対する懸念を市場が一部織り込んだことなどから長期金利は上昇しました。作成期末にかけて、米国では、中東情勢の不安定化を受け長期金利が一時低下しました。欧州では、ECB（欧州中央銀行）が市場予想通り政策金利を引き下げたものの、記者会見で利下げ打ち止めが示唆されたことなどを受け長期金利は上昇しました。日本では、海外金利の低下や日銀金融政策決定会合後に行われた植田総裁の会見がハト派的であったことなどから長期金利は低下基調となりました。

### ポートフォリオ

#### <当ファンド>

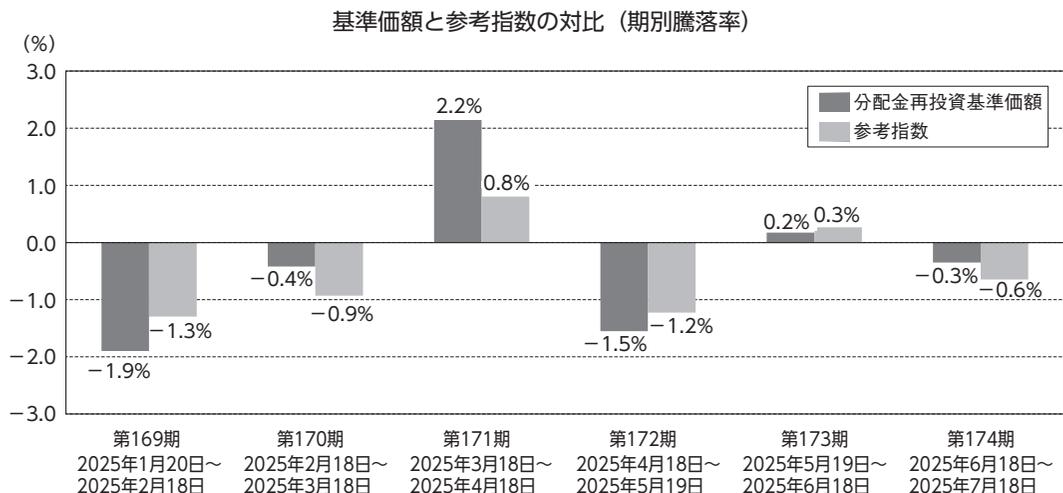
当ファンドは、アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、マザーファンドにおいて為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

#### <アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド>

当作成期初、日本の国債を100%保有するポートフォリオを維持しました。7月に日本国債を85%、デンマーク国債を15%保有するポートフォリオに変更しました。また、組入外貨建資産については為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

## ベンチマークとの差異

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注1) ファンドの騰落率は、分配金（税込み）が分配時に再投資されたものとみなして計算したものです。

(注2) 参考指数はNOMURA-BPI総合です。

## 分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、以下のとおり分配を行いました。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## 分配原資の内訳

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項 目	第169期	第170期	第171期	第172期	第173期	第174期
	(2025年1月21日 ～2025年2月18日)	(2025年2月19日 ～2025年3月18日)	(2025年3月19日 ～2025年4月18日)	(2025年4月19日 ～2025年5月19日)	(2025年5月20日 ～2025年6月18日)	(2025年6月19日 ～2025年7月18日)
当期分配金	1	1	1	1	1	1
(対基準価額比率)	(0.014%)	(0.014%)	(0.014%)	(0.014%)	(0.014%)	(0.014%)
当期の収益	0	—	1	0	1	0
当期の収益以外	0	1	—	0	—	0
翌期繰越分配対象額	11	10	15	14	17	16

・「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

・「当期の収益」「当期の収益以外」は小数以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### <当ファンド>

引き続きアムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行います。また、実質組入外貨建資産については、マザーファンドにおいて為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

### <アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド>

日本を含む世界の国債等を投資対象とし、各国の信用力や各債券の収益変動率などを勘案し、為替ヘッジ後の利回りの高い国の国債に投資していく方針です。また、組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

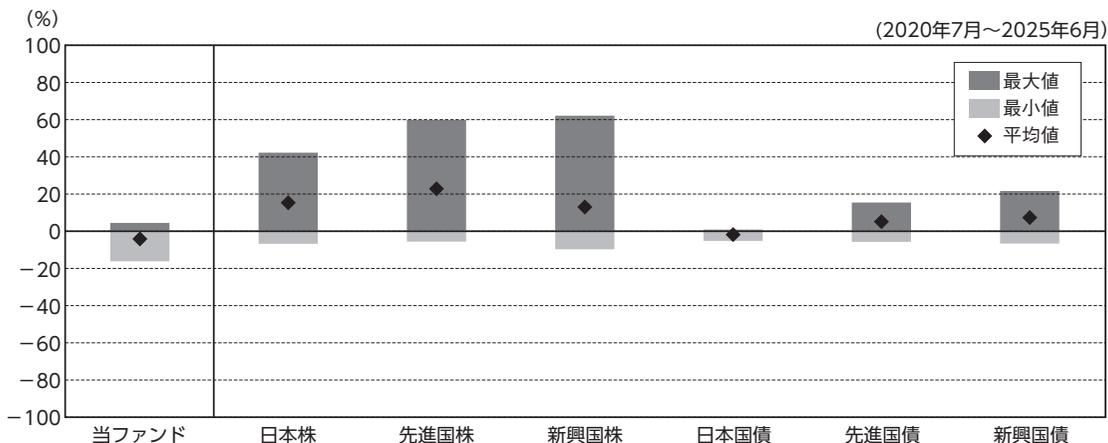
## お知らせ

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、2025年4月1日付けで投資信託約款に所要の変更を行いました。
- ・2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献につながるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

## ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2011年1月31日から無期限です。	
運用方針	アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の国債等に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目標として運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則としてマザーファンドにおいて為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ることをめざします。	
主要投資対象	アムンディ・ジャパン・プラス債券ファンド	アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンドの受益証券
	アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド	日本を含む世界の国債等
運用方法	<p>①アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の国債等に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目標として運用を行います。</p> <p>②主として、世界各国のうち信用力の高い国の国債等に実質的に投資を行い、トップダウンによる地域・国配分およびボトムアップによる銘柄選択によりポートフォリオを構築します。</p> <p>③実質組入外貨建資産については、原則としてマザーファンドにおいて為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ることをめざします。</p>	
分配方針	毎決算時（年12回、原則毎月18日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

## 当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



### 当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	-4.5	15.0	22.7	12.7	-2.1	4.9	7.1
最大値	4.3	42.1	59.8	62.1	0.6	15.3	21.5
最小値	-16.5	-7.1	-5.8	-10.1	-5.5	-6.1	-7.0

(注1) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 上記は、2020年7月から2025年6月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

### 各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・当ファンドは、分配金 (税込み) が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ・騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容 組入ファンド

2025年7月18日現在  
(組入銘柄数：1銘柄)

銘柄	比率
アムンディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド	99.9%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

### 種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

### 純資産等

項目	第169期末 2025年2月18日	第170期末 2025年3月18日	第171期末 2025年4月18日	第172期末 2025年5月19日	第173期末 2025年6月18日	第174期末 2025年7月18日
純資産総額	1,129,655,178円	1,113,601,148円	1,108,035,716円	1,078,766,731円	1,062,839,683円	1,027,328,748円
受益権総口数	1,554,792,155口	1,539,207,390口	1,499,276,737口	1,482,789,060口	1,458,445,593口	1,414,892,220口
1万口当たり 基準価額	7,266円	7,235円	7,390円	7,275円	7,287円	7,261円

※当作成期間(第169期~第174期)中における追加設定元本額は12,280,515円、同解約元本額は198,412,565円です。

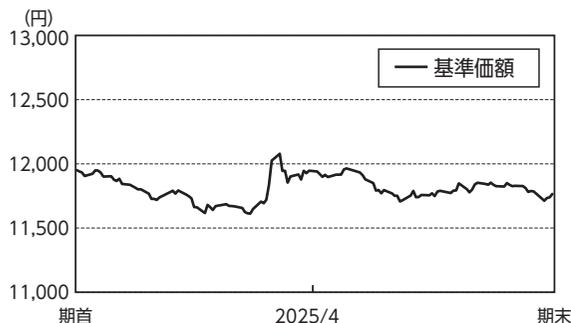
## 組入ファンドの概要

### <アムディ・ジャパン・プラス債券マザーファンド>

第29期 決算日：2025年7月18日

(計算期間：2025年1月21日～2025年7月18日)

### 基準価額の推移



### 組入銘柄

2025年7月18日現在

(組入銘柄数：7銘柄)

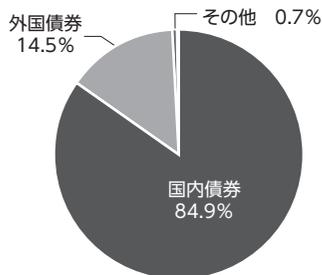
	銘柄	種別	比率
1	DGB 2.25 11/15/33	国債	14.5%
2	第372回利付国債(10年)	国債	14.3%
3	第373回利付国債(10年)	国債	14.3%
4	第150回利付国債(20年)	国債	14.2%
5	第371回利付国債(10年)	国債	14.2%
6	第374回利付国債(10年)	国債	14.0%
7	第375回利付国債(10年)	国債	13.9%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

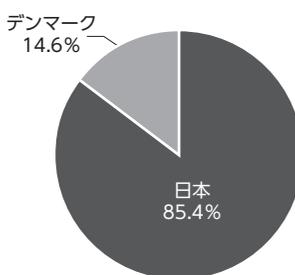
(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

### 種別構成

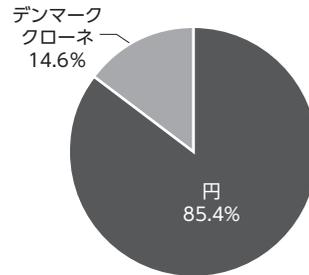
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

### 1万口当たりの費用明細

項目	第29期 (2025年1月21日 ～2025年7月18日)		項目の概要
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	0円 (0)	0.000% (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	0	0.000	
期中の平均基準価額は11,811円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 指数に関して

### ◇「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### • 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXの指数値およびTOPIXにかかる標章または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXにかかる標章または商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません。

#### • MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

#### • MSCIエマージング・マーケット・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

#### • NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（以下「NFRC」という。）が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利はNFRCに帰属します。

#### • FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### • JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。





**Amundi**  
Investment Solutions



**Trust must be earned**